

2011年3月23日
成田国際空港株式会社

東北地方太平洋沖地震発生後の成田空港における現況について

この度の東北地方太平洋沖地震において被災された皆様に、心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の早期復興をお祈り申し上げます。

成田空港は、ターミナル施設、運航支援施設及び燃料供給体制に至るまで、ほぼ全ての施設が地震直後から平常どおり機能しております。

弊社といたしましては、引き続き日本の表玄関としての機能を維持することに全力を傾注し、航空機の円滑なる運航やお客様の安全対策などに万全を期して参りますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

現在の当空港における状況を以下のとおりお知らせいたします。

● 成田国際空港公式WEBサイトにおける地震関連情報の提供について

- ターミナル施設情報、フライト情報、アクセス情報
- 福島第一原子力発電所事故の影響
- 航空機燃油施設及び燃油の提供等
- 国土交通省、千葉県等関係機関のホームページへのリンク設定

※ 日本語版、英語版（中国語版、韓国語版については、現在、掲載準備中。）

● 航空機燃料等について

成田空港における航空機給油施設につきましては、今回の地震により、通常の運用に支障となる被害は受けておりません。現在、空港内には、航空機燃料を常時基準どおりの7日分以上の備蓄を有しており、今後も関係者の協力を得ながら、この備蓄を維持して参ります。

その他、空港機能を維持するための航空機運航支援車両、緊急車両等に対する燃料も十分確保されており、安全で円滑なる運用が継続されております。

● 節電への対応について

福島第一原子力発電所の事故による電力供給の逼迫を受け、成田空港においては、今月14日より、エレベーターの一部の運転を休止させていただいているほか、館内照明の一部を消灯し、お客様及び空港職員の皆様にご協力をお願いしているところです。

計画停電につきましては、現在まで成田空港において実施されておられません。仮に停電が発生した場合、航空管制施設、滑走路等の照明施設、無線施設等の空港機能を確保する上で最低限必要な設備については、非常用電源より供給が行われますので、航空機の運航に支障はありません。

旅客ターミナルビル等については、一部の照明を除いて停電となります。

● 福島第一原子力発電所事故の影響について

福島第一原子力発電所から成田空港までは約200km離れており、千葉県及び成田空港の北側に位置する茨城県が公表している放射線測定結果を見ると、現在まで健康に影響を与えるレベルではないということです。

成田空港では、公式WEBサイトに1日に2回（午前10時と午後5時）、千葉県ホームページ、茨城県環境放射線監視センターホームページのデータを基に千葉県市原市、茨城県鉾田市及び東海村の3箇所の放射線量データを掲載しております。

◆ 千葉県ホームページ

<http://www.pref.chiba.lg.jp/taiki/h23touhoku/houshasen/20110318.html>

◆ 茨城県環境放射線監視センターホームページ

<http://www.houshasen-pref-ibaraki.jp/present/result01.html>

● その他

① 緊急支援物資の輸送等支援について

地震発生以降、成田空港では世界各国から到着した毛布、水等の救援物資が被災地へ向けて配送されるまでの間、空港南部貨物地区の上屋を一時保管スペースとして無償で提供しております。

② 東北地方太平洋沖地震に係る募金箱設置について

成田空港におきましても、一日も早く復興されることをお祈りし、館内に募金箱を設置し、被災地の皆様の支援に努めてまいります。ご出発・ご到着で成田空港をご利用のお客様におかれましては、募金活動へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【設置場所】

◆ 第1旅客ターミナル4階 南・北ウイング中央ビル側案内カウンター付近（2箇所）

◆ 第2旅客ターミナル3階 南側ウェイティングエリア案内カウンター付近（1箇所）